

年間授業計画

上水 高等学校 令和6年度（1年次用）教科

教科：芸術

科目：音楽I

対象学年組：第1年次 A組～F組

使用教科書：(MOUSA1)

芸術

科目 音楽I

単位数：2 単位

)

教科 芸術

の目標：芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようとする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようとする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽I

の目標：音楽の幅広い活動を通して音楽的な見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようになる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当時数
		歌	器	創					
A 歌唱（校歌） 【知識及び技能】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 【思考力、判断力、表現力等】旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】曲想や歌詞の内容に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	(・ガイダンス「身の回りの音と自然倍音」) ・「校歌」 ・発声練習と歌唱における身体の使い方 ・実技テスト 題材内で使用する教材 楽譜、ワークシート	○			A 歌唱（校歌） 【知識及び技能】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】曲想や歌詞の内容に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	・「星に願いを」 ・リズムや拍子、演奏スタイルの変化を伴う創作 題材内で使用する教材 教科書、ミュージックベル、ワークシート	○	○		B 器楽及び創作（ミュージックベルを使用した合奏と変奏） 【知識及び技能】音を連ねたり重ねたりしたときの響き及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】音色やテクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】他者との調和を意識して演奏したり、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ変奏や編曲をしたりする活動に関心をもち、主体的・協働的に器楽・創作の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	・バロック時代の音楽に関する学習と作品鑑賞 ・バッハ、ヘンデルの生涯とその音楽の特徴 ・ノート点検 題材内で使用する教材 教科書、副教材、鑑賞教材		○		C 音楽史と鑑賞 【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】バロック時代の音楽に特徴的な楽器の音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】音楽家の生涯やその作品の特徴に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10

二 学 期	D 歌唱（イタリア語・ドイツ語の歌曲） 【知識及び技能】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声や言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表す。 【思考力、判断力、表現力等】リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】各言語の特徴とその発音方法に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	・「Caro mio ben」 ・「Heideröslein」 ・イタリア語、ドイツ語の発音方法とその特徴 ・実技テスト 題材内で使用する教材 教科書、ワークシート	○	D 歌唱（イタリア語・ドイツ語の歌曲） 【知識及び技能】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声や言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】各言語の特徴とその発音方法に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○ ○ ○ 10
	E 器楽（クラシック・ギター） 【知識及び技能】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表す。 【思考力、判断力、表現力等】メロディーと伴奏の役割を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】楽器の奏法を身に付け、曲にふさわしい音色や響きを工夫し表現する活動に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。	・「第三の男のテーマ」 ・クラシックギターの奏法とその特徴 ・実技テスト 題材内で使用する教材 教科書、クラシック・ギター、ワークシート	○	E 器楽（クラシック・ギター） 【知識及び技能】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 【思考力、判断力、表現力等】メロディーと伴奏の役割を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】楽器の奏法を身に付け、曲にふさわしい音色や響きを工夫し表現する活動に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○ ○ ○ 10
三 学 期	F 音楽史と鑑賞 【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】古典派の音楽に特徴的な楽器の音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】音楽家の生涯やその作品の特徴に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	・古典派の音楽に関する学習と作品鑑賞 ・モーツアルト、ベートーヴェンの生涯とその音楽の特徴 ・ノート点検 題材内で使用する教材 教科書、副教材、鑑賞教材	○	F 音楽史と鑑賞 【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】古典派の音楽に特徴的な楽器の音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】音楽家の生涯やその作品の特徴に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○ ○ ○ 10
	G 歌唱（唱歌と合唱） 【知識及び技能】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表す。 【思考力、判断力、表現力等】旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】パートの役割を理解しハーモニーの変化を感じながら合わせて歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	・「ふるさと」「冬景色」 ・「おんがく」 ・合唱に向けたパート練習 ・実技テスト 題材内で使用する教材 教科書、ワークシート	○	G 歌唱（唱歌と合唱） 【知識及び技能】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】パートの役割を理解しハーモニーの変化を感じながら合わせて歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○ ○ ○ 10
四 学 期	H 鑑賞（ポピュラー音楽と知的財産権） 【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ポピュラー音楽に特徴的な音楽の要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】社会とともに発展してきた音楽の歴史と知的財産に関する権利に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	・ポピュラー音楽と社会との関わり ・The Beatlesの音楽とその特徴 ・現代における知的財産の扱い方と権利 題材内で使用する教材 教科書、鑑賞教材、ワークシート	○	H 鑑賞（ポピュラー音楽と知的財産権） 【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】ポピュラー音楽に特徴的な音楽の要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】社会とともに発展してきた音楽の歴史と知的財産に関する権利に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	○ ○ ○ 合計 78